

2023 年度

履修のてびき

京都光華女子大学助産学専攻科

履修のてびきは、学生が卒業するために必要な教育的事項を記載したものです。毎年変更があり、改訂されますが、1年間、大切に保管してください。

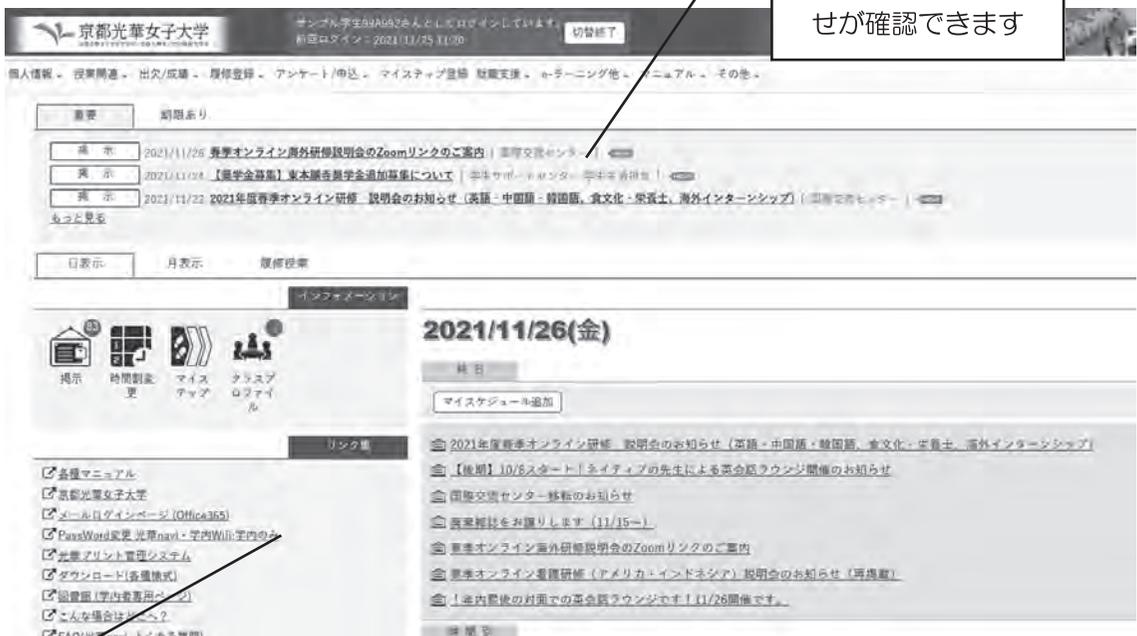
光華naviにはたくさんの情報が集まっています

★ <https://navi.koka.ac.jp/> ★

大学のホームページ「在学生の方へ」からもリンクしています

- 学生呼出 ・休講・補講・教室変更情報
- 各部門からのお知らせ ・時間割紹介 ・スケジュール管理
- シラバス紹介 ・履修登録 ・出欠状況確認 ・成績照会 ・面談予約
- クラスプロフィール ・就職支援情報 ・アンケート回答 ・e-ポートフォリオetc.
- 学内システムへのアクセス
(e-ラーニング, 教職履修カルテ, マイライブラリ, メール)etc.

授業の休講情報や教室変更などのお知らせが確認できます



クラスプロフィールでは、教員からの授業資料や課題が提示されます

2023 年度

履修のてびき

学 年 曆

(2023年4月～2024年3月)

4	日	月	火	水	木	金	土
							1
2	3	4	5	6	7	8	8
9	10	11	12	13	14	15	15
16	17	18	19	20	21	22	22
23	30	24	25	26	27	28	29

5	日	月	火	水	木	金	土
							6
7	8	9	10	11	12	13	13
14	15	16	17	18	19	20	20
21	22	23	24	25	26	27	27
28	29	30	31				

6	日	月	火	水	木	金	土
					1	2	3
4	5	6	7	8	9	10	10
11	12	13	14	15	16	17	17
18	19	20	21	22	23	24	24
25	26	27	28	29	30		

7	日	月	火	水	木	金	土
							1
2	3	4	5	6	7	8	8
9	10	11	12	13	14	15	15
16	17	18	19	20	21	22	22
23	30	24	25	26	27	28	29

8	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12	12
13	14	15	16	17	18	19	19
20	21	22	23	24	25	26	26
27	28	29	30	31			

9	日	月	火	水	木	金	土
						1	2
3	4	5	6	7	8	9	9
10	11	12	13	14	15	16	16
17	18	19	20	21	22	23	23
24	25	26	27	28	29	30	30

4月	1日(土)	入学式・前期履修登録開始
	3日(月)	オリエンテーション
	4日(火)	
	5日(水)	前期授業開講
	12日(水)	前期履修登録締切
	15日(土)	前期履修登録取消開始
	16日(日)	前期履修登録取消締切
	12日(水)	オリエンテーション
	15日(土)	本山参拝 (午後)
	20日(木)	学園花まつり (2講時)
	21日(金)	新入生研修
	22日(土)	
5月	6日(土)	金曜授業日
	13日(土)	木曜授業日 (2講時)
	26日(金)	宗教講座 (5講時)
6月	30日(金)	宗教講座 (5講時)
7月	4日(火)	前期末定期試験時間割発表
	15日(土)	水曜授業日
	24日(月)	前期授業終了
	25日(火)	前期末定期試験
	31日(月)	
8月	1日(火)	集中講義期間
	4日(金)	
	4日(金)	
	5日(土)	追試験
	7日(月)	
	9日(水)	集中講義期間
	10日(木)	学園休業日
	16日(水)	
	17日(木)	集中講義期間
	18日(金)	
	21日(月)	
	26日(土)	集中講義期間
	28日(月)	
	2日(土)	集中講義期間
9月	4日(月)	
	5日(火)	再試験
	4日(月)	
	9日(土)	集中講義期間
	11日(月)	
	14日(木)	学園創立記念日 (学園休業日)
	15日(金)	
	16日(土)	集中講義期間
	19日(火)	集中講義期間
	22日(金)	
	22日(金)	後期履修登録開始
	25日(月)	後期授業開講

□…授業日 ■…調整日 (補講等のある日) ■…定期試験

●…集中講義 □…学園休業日 ○…祝日

10	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7	
8	⑨	10	11	12	13	14	
15	16	17	18	19	20	21	
22	23	24	25	26	27	28	
29	30	31					

11	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	③	4
5	6	7	8	9	10	11	
12	⑬	14	15	16	17	18	
19	20	21	22	⑳	24	25	
26	27	28	29	30			

12	日	月	火	水	木	金	土
						1	2
3	4	5	6	7	8	9	
10	11	12	13	14	15	16	
17	18	19	20	21	22	23	
24 31	25	⑒	⑓	⑔	⑕	⑖	

1	日	月	火	水	木	金	土
	①	②	③	4	5	6	
7	⑧	9	10	11	12	13	
14	15	16	17	18	19	20	
21	22	23	24	25	26	27	
28	29	⑩	⑪				

2	日	月	火	水	木	金	土
					①	2	3
4	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
11	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	
18	⑱	⑲	㉑	㉒	㉓	㉔	
25	㉖	㉗	㉘	㉙			

3	日	月	火	水	木	金	土
						①	②
3	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	
10	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	
17	⑰	19	⑳	㉑	㉒	㉓	
24 31	25	26	27	28	29	30	

10月	1日(日)	後期履修登録締切
	3日(火)	後期履修登録取消開始
	4日(水)	後期履修登録取消締切
	27日(金)	宗教講座 (5講時)
11月	4日(土)	金曜授業日
	10日(金)	本山参拝(午前) 大学祭準備(午後)
	11日(土)	大学祭
	12日(日)	大学祭
	13日(月)	11月12日(日)大学祭の振替休日・大学祭後片付け
	17日(金)	人権講演会
	24日(金)	宗教講座 (5講時)
12月	8日(金)	宗教講座 (5講時)
	26日(火)	冬季休暇開始 (1月3日まで)
1月	4日(木)	後期授業再開
	5日(金)	学年末・後期末定期試験時間割発表
	6日(土)	月曜授業日
	18日(木)	修論提出締切 (助産学専攻) 16時まで
	22日(月)	後期授業終了
	23日(火)	学年末・後期末定期試験
	29日(月)	
	5日(月)	追試験
	6日(火)	
2月	16日(金)	修了予定者発表 (午前10時)
	20日(火)	再試験
	21日(水)	
3月	1日(金)	修了予定者追加発表(午前10時)
	19日(火)	修了証書・学位記授与式

(注) 日程は都合により変更することがあります。集中講義・補講の日程については、光華 navi の掲示で確認すること。

土曜授業日は1. 2講時：授業 3. 4. 5講時：補講が実施されます。

目 次

I 履修要項

1. 助産学専攻科
 - (1) 教育目的 ……………1
 - (2) 教育目標 ……………1
 - (3) 教育の特徴 ……………1
2. 教育課程の編成の考え方及び特色
 - (1) 基礎助産学 ……………1
 - (2) 助産診断・技術学 ……………2
 - (3) 国際・地域母子保健 ……………2
 - (4) 助産管理 ……………2
 - (5) 臨地実習（助産実習・地域実習）…………2
 - (6) 助産学探究 ……………2
3. 履修規程
 - (1) 単 位 制 …………… 2
 - (2) 修了の要件（卒業所要単位数）………… 3
4. 履 修 登 録
 - (1) 登録手続 …………… 3
5. 授 業 等
 - (1) 授 業 ……………4
 - (2) 授業時間 ……………4
 - (3) 休 講 …………… 4
 - (4) 気象条件の悪化、交通機関の運休による授業の休講及び試験の延期措置について …………… 4
 - (5) 授業の休講・定期試験の延期措置の周知方法・通知時刻 …………… 5
6. 試験および成績評価
 - (1) 試 験 ……………5
 - (2) 受験資格 ……………5
 - (3) 追 試 験 ……………5
 - (4) 再 試 験 ……………6
 - (5) 成績評価 ……………6
 - (6) 修了論文 ……………6

II カリキュラム

- 〔助産学専攻科〕…………… 7

III 開講科目表

- 〔助産学専攻科〕…………… 8

IV 教員

- 教員一覧…………… 11

V 施設

- 校舎建物・教室等配置図…………… 13

I 履 修 要 項

1. 助産学専攻科

(1) 教育目的

新しい生命の誕生への支援を核とし、あらゆるライフサイクルにある女性の機能が十分発揮できるように、高度な専門的知識・技術と共に人間愛や生命への慈しみを持ち、他職種と連携・協働して対象者に喜びや安心感をもたらす支援ができる実践能力を有する人材を育成する。そして、専門職として自律した活動ができる助産師を育成することを目的とする。

(2) 教育目標

- ① 助産実践に必要な判断力と実践力を育成する。
- ② 医療の高度化や多様化する価値観、ニーズの変化に対応できる判断力を育成する。
- ③ ケアの質向上を図るために、助産実践を科学的に検証し、追求することができる。
- ④ 女性が安心して子どもを産み育てられる環境を整えられるために、多職者と連携・協働できる能力を育成する。
- ⑤ 女性の生涯にわたる健康づくりを支援し、地域の母子保健の発展に貢献できる人材を育成する。
- ⑥ 専門職者としての助産師の役割や責務を認識して活動ができる人材を育成する。
- ⑦ 生命の誕生にかかわる体験をとおして、いのちの重みや尊さを実感し、助産師としての自己を高めていくことができる人材を育成する。

(3) 教育の特徴

- ① 助産実践力の強化を図るために、助産診断・技術学に、特別演習として、シミュレーションで学ぶ新生児蘇生法と母体救命時の初期対応等を設定した。
- ② 臨地実習では、産科医が常勤しない離島、隠岐広域連合立隠岐島前病院（隠岐郡西ノ島町）で、女性たちが安心して妊娠・出産ができる取り組みや工夫（後方支援病院との連携、救急体制・母体搬送システム、Webによる遠隔画像診断、地域と病院の多職種との関わり）等、地域と一体になった保健・医療・介護・福祉を展開している隠岐島前地区の地域包括ケアを具体的に学ぶ実習を組み入れた。
- ③ 助産所実習を設け、助産師が地域の中で母子やその家族の健康に果たしている役割、産婦のニーズに即した母児の安全性と快適性を考えた分娩の在り方、子どもの健康な成長・発達の促進に向けた育児環境づくりへの支援を実際に学ぶ内容とした。
- ④ 教育は、仏教精神に込められている「清澄にして光り輝くおらかな女性を育成する仏の心＝慈悲の心」が基盤となっている。

2. 教育課程編成の考え方と特色

教育課程は「基礎助産学」を礎に、「助産診断・技術学」「国際・地域母子保健」「助産管理」「助産学実習」「助産学探究」の6領域で構成した。

(1) 基礎助産学

女性の性と生殖に焦点を当て、医学的、産科学的知識と生命・人権に対する倫理観を身に付け、助

産の基礎について学ぶ。また、妊娠・出産・育児だけでなく、女性の生涯（主に思春期から更年期）を通じて、性と生殖に関する健康課題について、相談、教育、援助活動ができる能力を養う。

さらに、仏教精神に基づき、単に知識、技能を習得するのではなく、専門職として学生が自ら真実の人間としての生き方を求め、自己を問い、自己を確立できる態度を養う。

(2) 助産診断・技術学

看護基礎過程で履修した科学的問題解決技法を用いて、助産の視点より妊産褥婦及び胎児・新生児・乳幼児の健康に関する情報を収集して診断し、助産過程の展開（妊娠・出産・産褥が自然で安全に経過し、育児がスムーズに支援）できる能力を養う。また妊婦の主体性（産む力）を尊重した出産を支援する能力を養うと共に、急変時の母児の対応についても学ぶ。

(3) 国際・地域母子保健

核家族化や女性の社会進出が進む中、安心して子どもを産み育てるために、地域で子育て支援サービスや母子保健サービスなどの社会資源の活用や調整を行える能力を養う。そのために関係職種・関係機関との連携・調整、多職者と連携・協働の重要性について学ぶ。さらに国際化を視野に、途上国における母子保健の現状と国際協力についても学ぶ。

(4) 助産管理

産科病棟や助産所の運営・管理を安全に行うための基本を学ぶ。さらに周産期における医療安全の確保（緊急搬送体制）と医療事故への対応についても学ぶ。

(5) 臨地実習（助産実習・地域実習）

妊娠期から産褥期（母児）の診断力（判断力）を高め、妊娠・出産・産褥各期が自然で安全に経過できるよう、自然機能を助長・支援ができる専門的技術を養う。

また、多角的な実習施設で臨地実習を行い、実践的な思考能力（総合的に把握する力、気づきなど）を養う。

(6) 助産学探究

ケア向上のための探究心と、研究過程を通して、科学的な思考や論理的表現方法を養う。

3. 履 修 規 程

(1) 単 位 制

単位制とは、それぞれの授業科目に与えられている単位を、一定の規定に従って履修、修得し、修了の要件を充たす単位数に達することにより、修了の資格が与えられる制度である。

単位の計算

各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じて、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算する（90分の授業を2時間相当の学修時間とする）。

講義・演習科目

15時間または30時間の授業をもって1単位とする。

実習科目

30時間から45時間の授業をもって1単位とする。

単位の認定・GPA 制度

履修科目について、試験等の結果、合格と判定された場合に単位が認定される。成績は100点満点の60点以上を合格とし、以下の成績評価区分のとおり表示される。

また、本学では、履修計画・学習計画を立てるために、GPA (Grade Point Average : 学業平均値) 制度を導入している。GPA 制度は、一人ひとりの成績を総合的にあらわすものであり、履修登録された授業科目 (対象外となる科目も有) を成績算出の対象とする。GPA 値は、4 点を最高点とし、以下 0 点までの数値で表示される。

〈成績・GP (Grade Point) の基準について〉

合格／不合格	成績評価	成績評価基準	成績内容	GP
合格	秀	90 点以上	特に優れた成績	4.0
	優	80 点以上 90 点未満	優れた成績	3.0
	良	70 点以上 80 点未満	妥当と認められる成績	2.0
	可	60 点以上 70 点未満	合格と認められる最低限の成績	1.0
不合格	不可	60 点未満	合格と認められる最低限の成績に達していない場合	0.0
	欠	—	試験欠席	

* GPA 値については、光華 navi の成績照会画面より確認することができる。

* 納付金未納の場合、当該期間中の単位は認定されない。

* 成績評価は、素点では公開されない。

◆ GPA (Grade Point Average) の算出方法

$$GPA = \frac{\{(4.0 \times 90 \text{点以上相当の修得単位数}) + (3.0 \times 80 \text{点以上} 90 \text{点未満相当の修得単位数}) + (2.0 \times 70 \text{点以上} 80 \text{点未満相当の修得単位数}) + (1.0 \times 60 \text{点以上} 70 \text{点未満相当の修得単位数})\}}{\text{総履修登録単位数 (「不可」「欠席」の単位数を含む)}}$$

(注1) GPA は、小数点第 4 位を四捨五入し、小数点第 3 位までの数値で、表示します。

(注2) 「非要卒科目」、履修中止された科目は、計算式に含みません。

(2) 修了の要件 (卒業所要単位数)

修了の要件を充たすためには 1 年在学し、下表に示す単位を修得しなければならない。

ただし、留年は認めず、在籍期間は 1 年とする。

〈助産学専攻科〉

専攻	講義・演習	実習	計
助産学専攻	24	12	36

4. 履 修 登 録

(1) 登録手続

- 履修登録については、所定の期日までに、その学年で履修しようとする授業科目の登録をしなければならない。履修登録をしていない授業科目には、試験等に合格しても単位は与えられない。登録は、光華 navi により行うが、手続・方法については、学年始めのオリエンテーション

(履修説明)で説明する。本年度の履修登録期間は、前期4月1日(土)～4月12日(水)、後期9月22日(金)～10月1日(日)とする。

*後期履修登録期間で、科目の追加・変更が可能であるが、後期に受講を考えている科目は前期履修登録期間中に全て登録しておくこと。

- ② 登録科目を取り消す場合は、指定した期限内に必ず光華 navi により手続きすること。本年度の取消期間は、前期4月15日(土)～4月16日(日)、後期10月3日(火)～10月4日(水)とする。

5. 授 業 等

(1) 授 業

- ・授業の形態には、時間割表に基づいて行う通常の授業と、特定期間に集中的に行う集中講義とがある。なお、授業の都合により補講を行うこともある。
- ・集中講義は、原則として夏季休暇期間中（前半または後半）に行う（授業科目によっては他の時期に設定される場合もある）。
- ・補講及び集中講義に該当する授業科目は、光華 navi により通知する。

(2) 授 業 時 間

授業時間は、次のとおりである。

講 時	第 1 講 時	第 2 講 時	第 3 講 時	第 4 講 時	第 5 講 時
授 業 時 間	8：50～10：20	10：30～12：00	12：50～14：20	14：30～16：00	16：10～17：40

(3) 休 講

大学の行事または各授業科目の担当者のやむを得ない事由により、授業を休講することがある。その場合は光華 navi により通知する。休講の掲示がなく、始業開始時刻を30分以上経過しても授業が始まらない場合は、学生サポートセンター（修学担当）に問い合わせ指示を受けること。

(4) 気象条件の悪化、交通機関の運休による授業の休講及び試験の延期措置について

気象条件の悪化等の影響により、以下に掲げる交通機関が運転を休止している場合あるいは休止が予想される場合には、授業の休講・定期試験の延期措置を行うことがある。

<措置の基準>

交通機関の不通・特別警報（種類を問わない）の発令、暴風警報の発令による臨時休講・授業の取り扱いは次のとおりとする。

<1>下記のいずれかの交通機関が不通の場合

- ① J R（米原～大阪）
- ② 阪急電車（京都線）
- ③ 京都市バス・京都市営地下鉄のいずれかが全面不通

<2>京都府南部に特別警報（種類を問わない）または暴風警報が発令された場合
京都府南部

京都市	宇治市	亀岡市	城陽市	向日市	長岡京市	八幡市
京田辺市	南丹市	木津川市	大山崎町	久御山町	井手町	
宇治田原町	笠置町	和束町	精華町	南山城村	京丹波町	

<1><2>による授業開始は以下のとおりとする。

交通機関の開通時刻および警報解除時刻	授業開始講時
午前7時まで開通・解除	1 講時から平常通り実施
午前10時まで開通・解除	3 講時から実施
午前10時以降開通・解除	終日休講

(備考)

- ・上記の交通機関または地域以外で、不通・気象警報発令等の影響により通学が困難な場合は、届け出により考慮する。
- ・上記の取り扱いにかかわらず、自然災害等の状況によって別途の措置を講ずる場合がある。
- ・臨地実習については、別途の基準による（実習要項参照）。

(5) 授業の休講・定期試験の延期措置の周知方法・通知時刻

原則として、光華 navi で配信するため、必ず確認すること。

1. 午前の授業の休講、定期試験の延期措置等については、当日午前7時の判断により通知する。
 2. 午後の授業の休講、定期試験等の延期措置等については、当日午前10時の判断により通知する。
- なお、気象・交通機関の状況の急変により、上記時刻を過ぎて休講または試験の延期を決定する場合がある。

6. 試験および成績評価

(1) 試験

- ・定期試験は各学期末に定められた期間に行う。
- ・試験は、筆記・口述・レポート・論文などによって行われる。
- ・定期試験時間は授業時間と同じである。(P.4 参照)

(2) 受験資格

次の各項に該当する場合は受験資格がない。

- ① 当該授業科目の履修登録を行っていない場合。
- ② 学生証（有効であること）を携帯していない場合。

※筆記試験当日、学生証を忘れた者は、試験開始前に、学生サポートセンター（学生生活担当）で「仮学生証（試験受験用）」（当日限り有効）の交付を受け、受験すること。

(3) 追試験

やむを得ぬ事由で定期試験に欠席した者の願い出に対して行われるのが追試験である。追試験を受けようとする者は原則、試験期間終了後3日以内（年度によって申請締切日時が異なるため、大学からの連絡を確認すること）に、所定の「試験欠席届・追試験願」に次のものを添付し、学生サポートセンター（修学担当）へ提出しなければならない。

- ① 病気の場合は、医療機関による診断書（欠席した日が明記されているもの）

- ② 就職試験・公式試合などの場合は、学生部長の具申書
- ③ 公欠・忌引・出席停止の感染症および交通機関の事故など、不可抗力による欠席の場合は、それを証明するもの

※〈学校保健安全法施行規則第18条に規定される感染症は次のとおり〉

第1種…エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（病原体がコロナウイルス属 SARS コロナウイルスであるものに限る）及び鳥インフルエンザ（H5NI、H7N9）、中東呼吸器症候群、新型コロナウイルス感染症（指定感染症）

第2種…インフルエンザ（鳥インフルエンザ（H5NI、H7N9）を除く）、百日咳、麻疹、流行性耳下腺炎、風疹、水痘、咽頭結膜熱、結核、髄膜炎菌性髄膜炎

第3種…コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎、その他の感染症

なお、新型コロナウイルス感染症については、2023年5月8日に感染症の区分変更が予定されており、第2種に変更される可能性があるため、変更後の規準に準じ運用する。

最終成績は100点を最高点とし、追試験料は1科目につき500円とする。ただし、③の場合の追試験料は徴収しない。

（注）無届欠席者および上の条件を充たさない者に対しては、追試験を行わない。

（4）再試験

※次の場合に再試験を申し出ることができる。

必修・選択科目のうち、60点未満の成績で不可となった科目。

再試験の実施は、大学運営会議の議を経て決定する。

※再試験の成績評価は可（60点）・不可のいずれかとする。

再試験料は1科目につき1,000円とする。

再試験を受験する場合は、光華naviにて配信される連絡事項をよく確認すること。

（5）成績評価

履修科目について、試験又はレポート等の結果、合格と判定された場合に単位が認定される。

成績は、100点満点の60点以上を合格とし、成績評価は次のとおりとする。

秀（90点以上）、優（89～80点）、良（79～70点）、可（69～60点）

成績証明書には、秀・優・良・可などの評価が記載され、不合格科目は記載されない。

※臨地実習については、別途の基準による（実習要項参照）。

（6）修了論文

① 提出期限

2023年度の修了論文の提出期限は次のとおりである。

2024年1月18日（休）午後4時

期限を厳守して提出すること。期限に遅れた場合は、どのような理由があっても受け付けない。

② 提出先

学生サポートセンター（修学担当）

③ 枚数・書式等

形式・書式・枚数等の詳細については、指示に従うこと。

Ⅱ カリキュラム

2023 年度 助産学専攻科

科目区分	授業科目	授業形態	1単位当たりの授業時間数	単位	必・選
助産師課程	助産学概論	講義	15	2	必修
	周産期の生理と病態I(妊娠・分娩・産褥)	講義	15	1	
	周産期の生理と病態II(胎児・新生児)	講義	15	1	
	母子と家族の発達論	講義	15	1	
	生殖医療と生命倫理	講義	15	1	
	ウイメンズヘルスケア論	講義	15	1	
	家族計画論	講義	15	1	
	仏教の人間観 I	講義	15	2	
	仏教の人間観 II	講義	15	2	選択
	助産診断・技術学I(妊娠期)	講義	15	2	必修
	助産診断・技術学II(分娩期)	講義	15	2	
	助産診断・技術学III(産褥・新生児期)	講義	15	2	
	助産診断・技術学演習I(助産の基本技術)	演習	30	1	
	助産診断・技術学演習II(特別演習)	演習	30	1	
	国際母子保健	講義	15	1	
	地域母子保健	講義	15	1	
	助産管理	講義	15	2	
	助産学実習I(病院での助産実践)	実習	45	9	
	助産学実習II(地域での助産実践)	実習	45	3	
	助産学研究I(助産学研究の基礎)	講義	15	1	
助産学研究II(論文作成)	演習	30	1		

修了要件及び履修方法

必修科目 36 単位を含む、合計 36 単位以上修得すること。

Ⅲ 開 講 科 目

2023 年度開講科目表

助産学専攻科

区分	授業科目	担当者	単位	必・選	授業期間	備考
助産師課程	助産学概論	未 定	2	必修	前期	
	周産期の生理と病態Ⅰ (妊娠・分娩・産褥)	神 田 隆 善	1	必修	前期	
	周産期の生理と病態Ⅱ (胎児・新生児)	樋 口 恒 司	1	必修	前期	
	母子と家族の発達論	荃 津 智 子	1	必修	前期	
	生殖医療と生命倫理	未北村 定 高橋 健太郎	1	必修	前期	
	ウイメンズヘルスケア論	松枝加奈子 後山尚久 柏葉匡寛	1	必修	前期	
	家族計画論	海 野 多 栄 子	1	必修	前期	
	仏教の人間観Ⅰ	小 澤 千 晶	2	必修	前期	
	仏教の人間観Ⅱ	小長澤 千晶 西倉村 直博 金沢 直子 中沢 麻一	2	選択	通年	
	助産診断・技術学Ⅰ (妊娠・産褥)	松 枝 加 奈 子	2	必修	前期	
	助産診断・技術学Ⅱ (分娩)	未 定	2	必修	前期	
	助産診断・技術学Ⅲ (産褥・新生児)	海 野 多 栄 子	2	必修	前期	
	助産診断・技術学演習Ⅰ (助産の基本技術)	未海野 定 松枝 多栄子 加奈子	1	必修	前期	
	助産診断・技術学演習Ⅱ (特別演習)	松枝加奈子 樋口恒司 高橋健太郎 未 定	1	必修	後期	
	国際母子保健	武 田 江 里 子 未 定	1	必修	後期	
	地域母子保健	尾ノ井 美由紀	1	必修	前期	
	助産管理	未宮川 定 友美	2	必修	前期	
	助産学実習Ⅰ (病院での助産実践)	未海野 定 松枝 多栄子 加奈子	9	必修	通年	
	助産学実習Ⅱ (地域での助産実践)	未 定	3	必修	通年	
	助産学研究Ⅰ (助産学研究の基礎)	松 枝 加 奈 子	1	必修	前期	
助産学研究Ⅱ (論文作成)	未海野 定 松枝 多栄子 加奈子	1	必修	通年		

Ⅳ 教 員

学 長 高 見 茂
助産学専攻科長 未 定

助産学専攻科

海 野 多栄子

小 澤 千 晶 (兼任)

小神野 雅 子

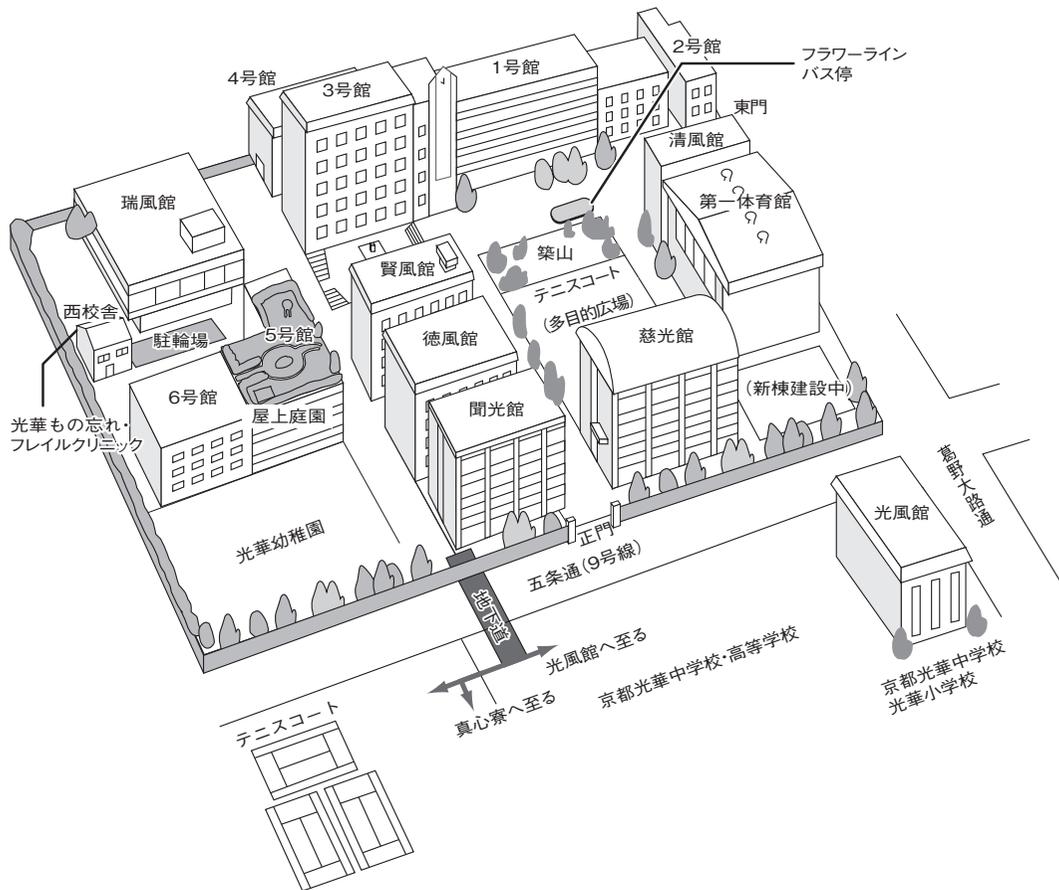
荃 津 知 子 (兼任)

松 枝 加奈子

V 施設

校舎・教室等建物配置

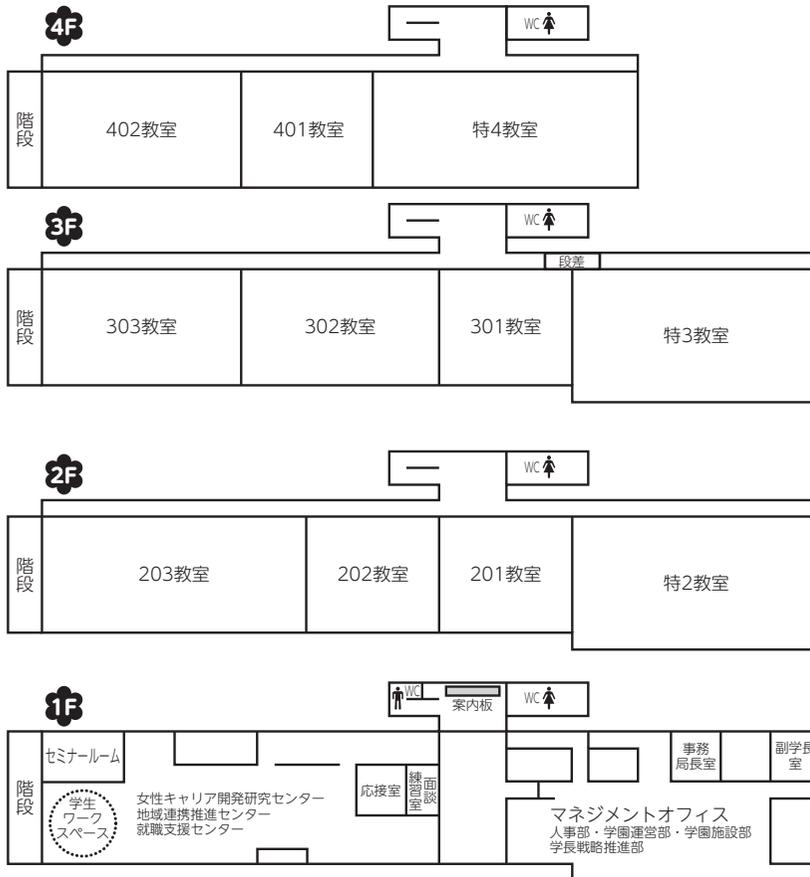
校舎建物配置図





教室等配置図

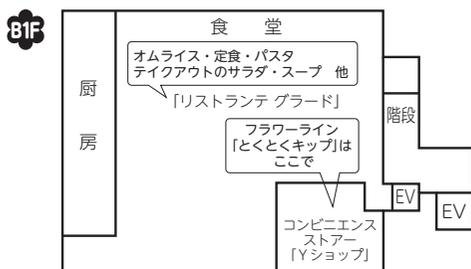
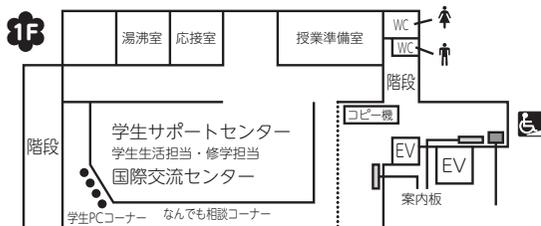
1号館



2号館

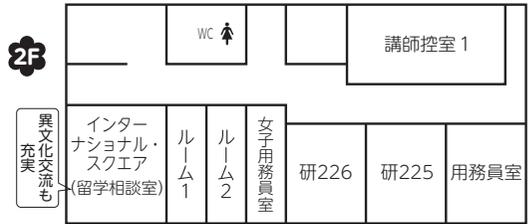
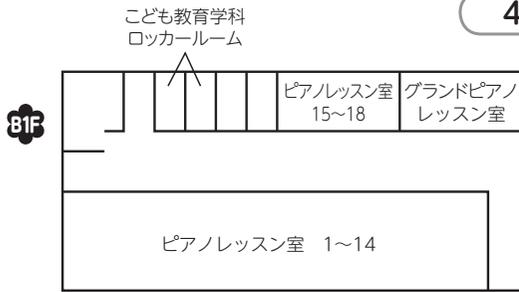


3号館



4号館

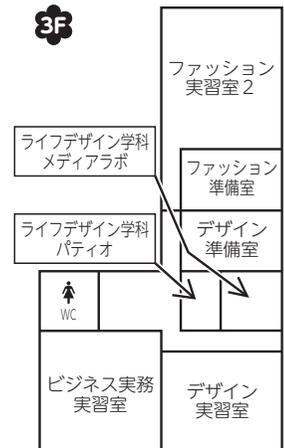
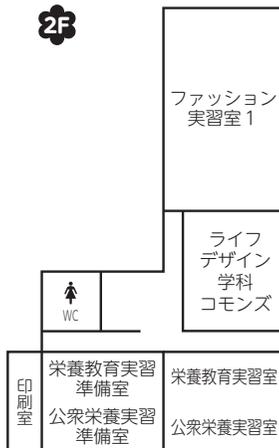
※この校舎にはEVがありません。



5号館

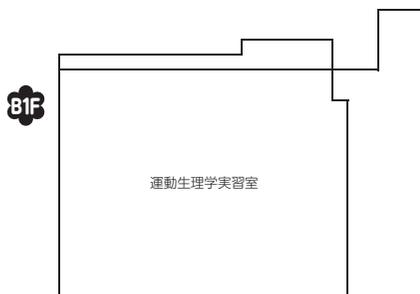
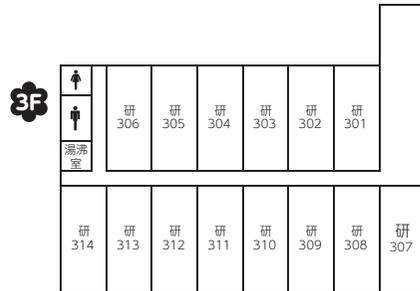
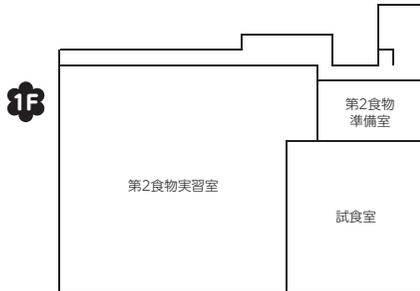
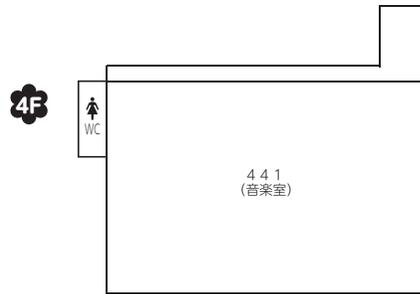
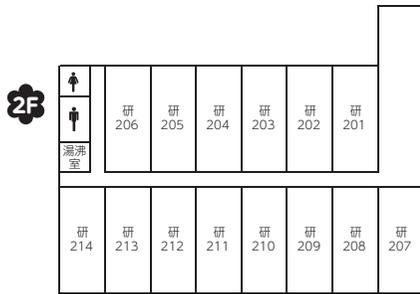
(屋上庭園)

「HIKARU COURT」



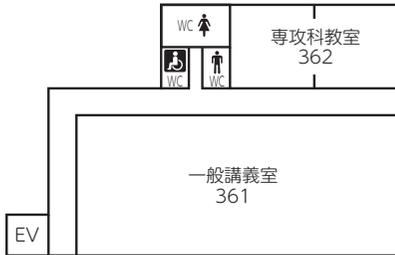
6号館

※この校舎にはスロープがありません。
また、B1F、4FへはEVでは行けません。

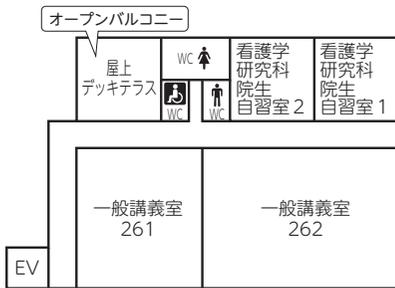


しょうふうかん
清風館

3F



2F



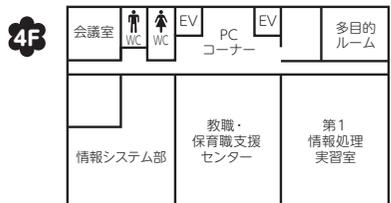
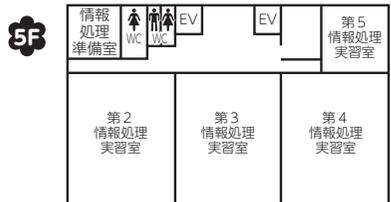
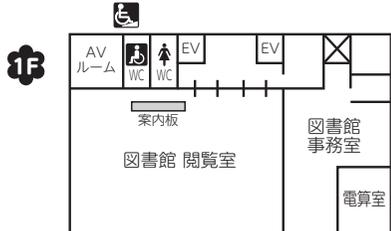
1F



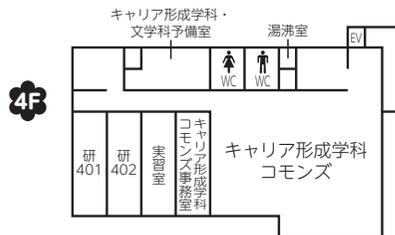
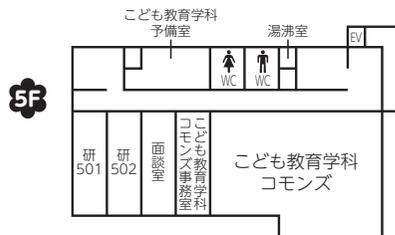
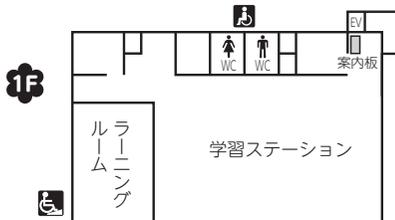
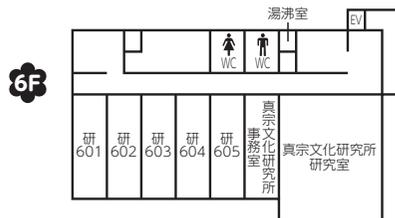
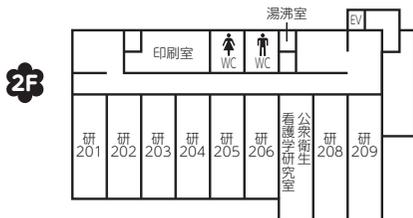
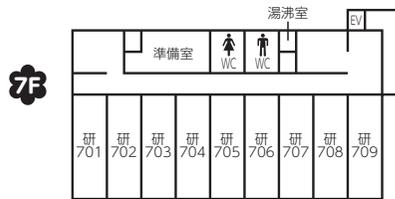
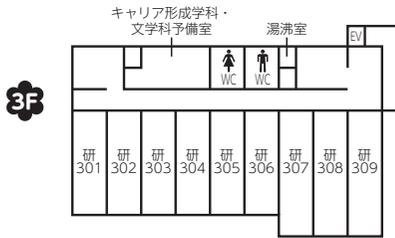
体育館



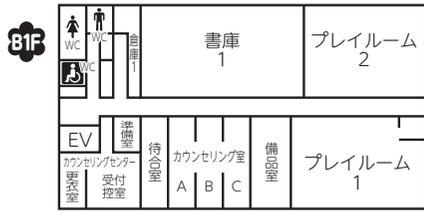
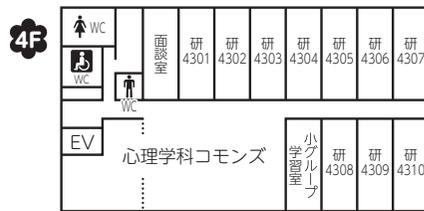
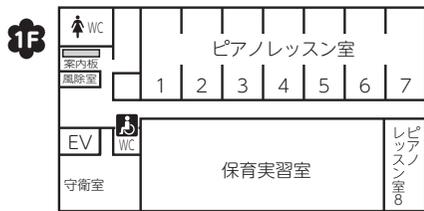
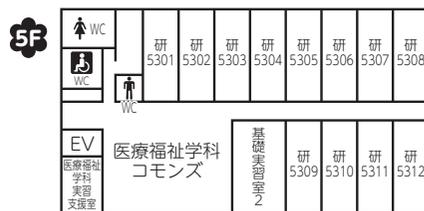
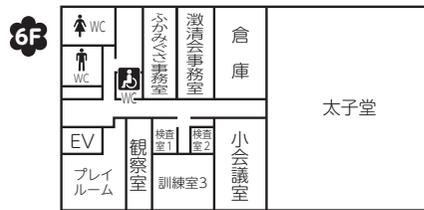
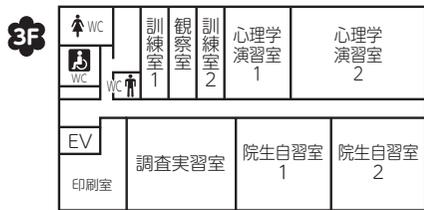
とくふうかん
徳風館



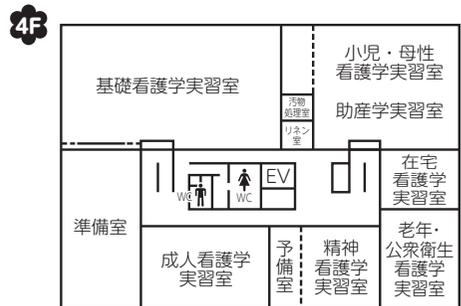
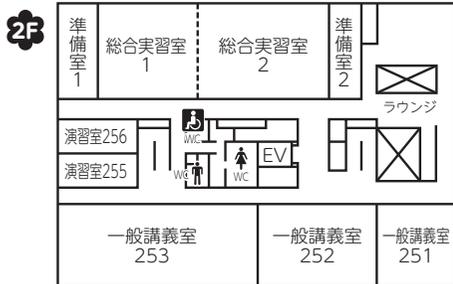
げんぶうかん
賢風館



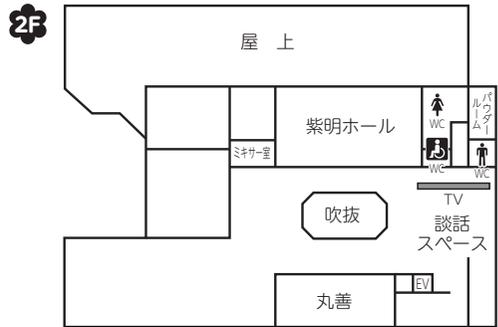
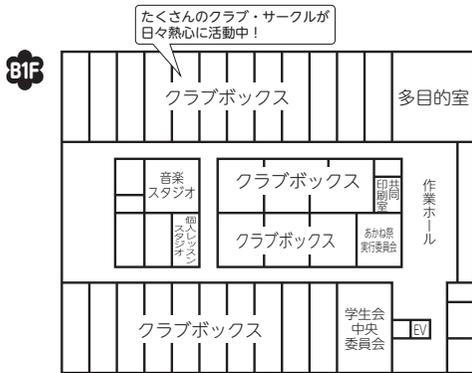
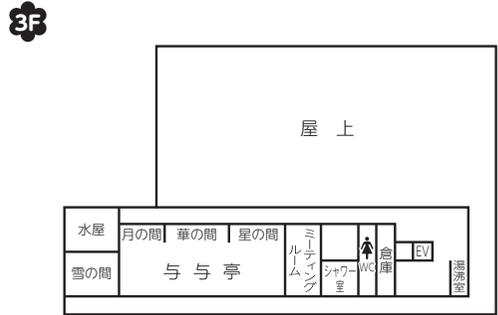
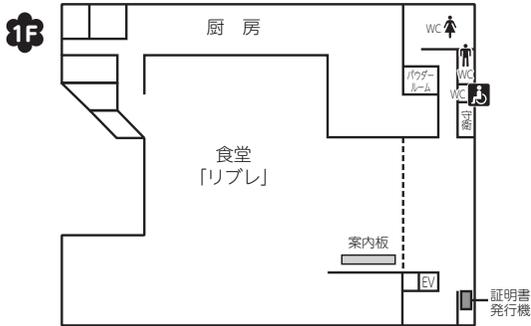
じこうかん
慈光館



もんこうかん
間光館



ずいふうかん
瑞風館



にしこうしゃ
西校舎

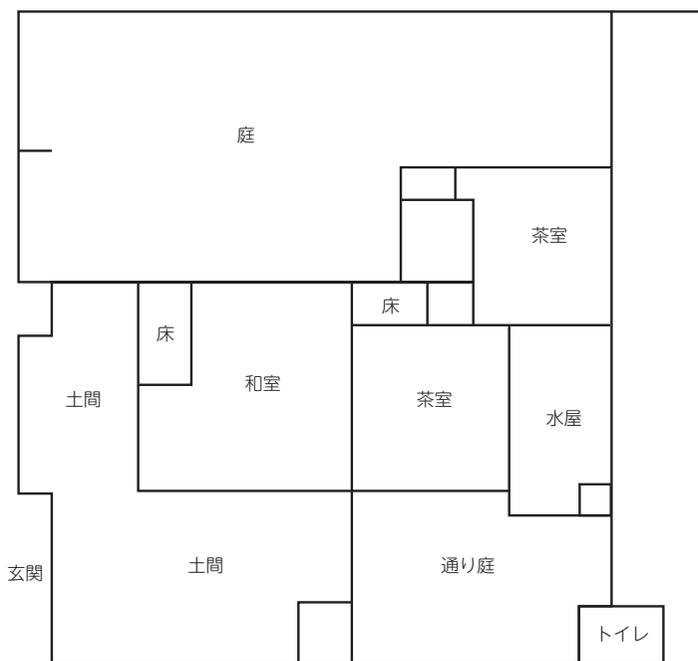


1F：光華もの忘れ・フレイルクリニック

光華女子学園 富小路まちやキャンパス

京都市中京区富小路通御池下る松下町 136 番地 1

富小路通



授 業 時 間 割 表

時間 曜日		第 1 講時 (8:50~10:20)	第 2 講時 (10:30~12:00)	第 3 講時 (12:50~14:20)	第 4 講時 (14:30~16:00)	第 5 講時 (16:10~17:40)
月	授業科目					
	教室					
火	授業科目					
	教室					
水	授業科目					
	教室					
木	授業科目					
	教室					
金	授業科目					
	教室					
土	授業科目					
	教室					

京都光華女子大学助産学専攻科

履修のてびき(2023年度版)

2023年4月1日 発行

〒615-0882

京都市右京区西京極葛野町38

連絡先

【事務局】

学生サポートセンター

修学担当 075-325-5308

学生生活担当 075-325-5321